

1 根室管内における農作業事故の現状

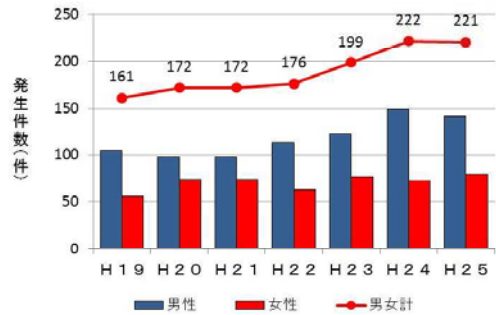
畜産経営は、人（家族・従業員）が365日労働に関わることで成り立っています。

営農の継続は、心身共に快適な環境で行えることが重要ですが、日常の労働環境の中には危険要因も多く潜んでいます。

根室管内の農作業事故は、過去7年間で1,323件が報告されており、負傷事故の実態について解析しました。（根室振興局農作業事故報告（負傷事故）H19年度～H25年度）

(1) 農作業事故発生件数の推移

農作業事故は年々増加しており、報告されていない事故も潜在していると想定されます。管内の農家戸数が減少する中、農作業事故の発生割合は高くなっていると言えます（図1）。



(2) 農作業事故の発生時間

農作業事故の発生は、朝夕の搾乳時に多いことがわかります。特に夕方の搾乳時は、身体疲労や注意力低下、他の環境要因も相まって発生

図1 負傷事故発生件数の年次推移（根室管内）

のピークとなっています（図2）。

(3) 農作業事故発生時の作業・負傷要因

農作業事故の約8割が、搾乳・家畜管理作業時に発生しており、その内訳は、①牛の移動、②搾乳、③給餌など、直接「牛」に接する場面での事故がほとんどです（図3）。また、施設内及び機械作業においては、通路などでの転倒や機械の操作ミスなど不注意による負傷事故が多く発生しています（図4）。

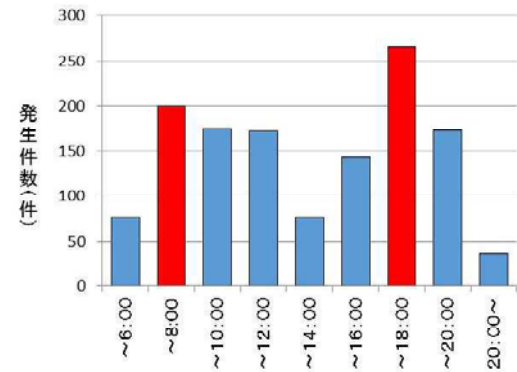


図2 負傷事故の発生時間別件数（根室管内）

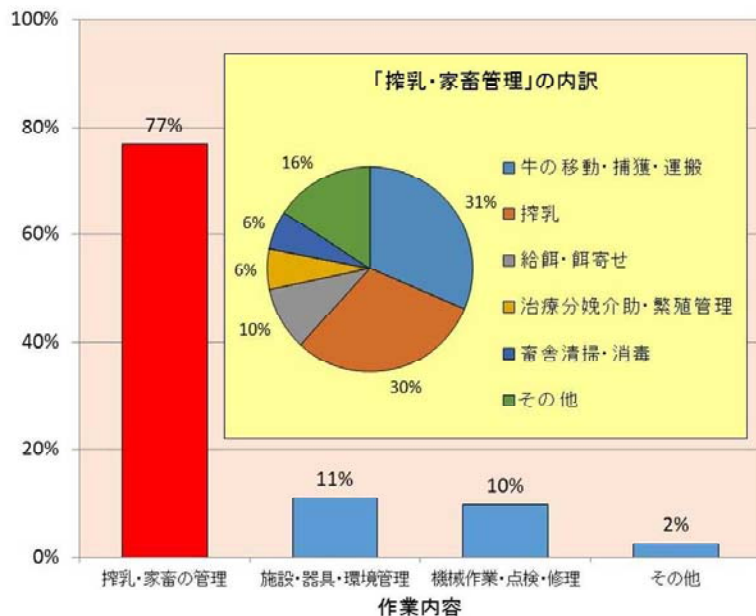


図3 負傷事故の作業別発生割合と作業内訳（根室管内）

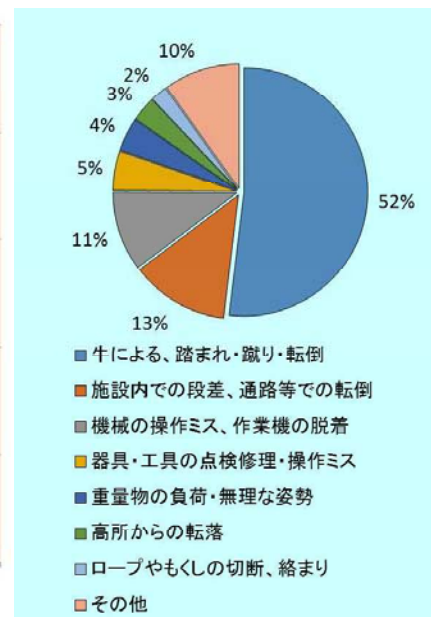


図4 負傷事故の要因（根室管内）

2 安全対策

根室管内の農作業事故は、「牛」「施設」「機械」に関する順に多いことがわかりました。事故を防ぐには、作業環境を改善し、構造的な危険要因を取り除いていきましょう。

(1) 牛の性質を知ろう

牛による農作業事故は、牛の移動と搾乳時に多く発生しています。驚かすつもりはなくても、牛が驚いて予測できない行動をとる場合もあります。搾乳時に物を落とし、拾う際に牛が驚く事例もありました。牛と接する時は、Ⅱ章6乳牛との接し方（14ページ）を参考に、基本動作を守りましょう。

(2) 農場の危険箇所を明確にしよう

牛舎は、施設の構造上、鉄骨やコンクリートなどの堅い構造物に囲まれ、低い配管や段差、ふん尿などでぬれた牛床や通路があり、暗くて見えづらく、危険箇所がたくさんあります（図5）。農場の危険箇所を、家族や農場スタッフが把握し、突起物や滑りやすい場所へのマーキングなどによって危険箇所を「見える化」しましょう（写真1・2）。



図5 農場の危険箇所、要因

ア 牛舎内の低い配管と照度不足の対策事例



写真1 低い配管にカラーテープで目印をつけて通行時の頭上注意



写真2 掃除&石灰塗布で牛舎内が明るく、見えやすい

(3) 作業機械の注意箇所を把握しよう

トラクタなどの機械作業は、一度事故が起こると通院、入院などの大きな負傷につながる場合が多いです。作業機械による事故の多くは、「点検中」「作業機の脱着時」「目的外の使用や応用動作などの想定されていない使い方」で起きています。点検や修理の際は、必ずエンジンを切りましょう。また、周辺の安全は、目視、ミラーやバックモニタなどで必ず確認しましょう（図6）。



図6 作業機の死角と注意点

(4)安全対策への意識を持つ

ア ゆとりを持った作業を！

農作業事故を起こした時は、「急いでいた」「いつもと違う順番や行動をした」ことが多く、ゆとりを持って平常心で作業することが大切です。

イ 作業内容などを伝えましょう

農作業事故で重傷になったケースの多くは、「1人で作業を行っていた」「事故の発見が遅れた」「どこで作業していたか分からなかった」などの要因が共通しています。あらかじめ、「場所、内容、終了時間の目安」を家族や農場スタッフに伝え、可能な場合は複数で作業をしましょう。

3 農業機械の資格（作業免許）取得の必要性

農業者の多くは、普通自動車免許は勿論、大型特殊自動車免許を取得し農業に従事・経営をしています。農業従事者は、さまざまな機械作業を行うため、作業内容に応じた技能講習を受け、農業機械の資格（以下作業免許という）を取得した上で作業をすることが安全確保のために必要です。

作業免許の取得は、機械の構造や取り扱い、点検・整備、操作など安全確保に必要な知識や技能が身につく、労働災害の防止にもつながります。労働者を雇用する場合は、安全衛生管理面から作業従事者にも作業免許を取得させることが望まれます。



表1 畜産経営でよく行う作業の運転免許・作業免許

運転免許・作業免許の種類	機械・操作・作業名	使用の内容と摘要	問い合わせ機関
中型自動車運転免許	4tトラック運転	普通自動車免許では、車両総重量5t未満に制限されるため、4tトラックに荷積みをするには、中型自動車運転免許の取得が現実的です。	●中標津自動車学校（中標津町）
刈払機械取扱作業者の資格	刈払機	農場施設周辺の雑草を刈る場合に手軽に使われています。	●林災防北海道支部 釧路分会（釧路工業技術センター）
小型移動式クレーン運転技能講習修了証	ユニッククレーン操作	玉掛け作業とは、フレコンバックの肥料や飼料などをクレーンに掛け外しすることです。	北海道労働局長登録 教習実施場所 ●北海道立農業大学校（本別町） ●(株)芽室自動車学校 ・十勝教習センター（芽室町） ・北見教習センター（北見市） *大型特殊運転免許を取得していることが前提
玉掛け技能講習修了証	玉掛け作業	ユニッククレーン操作と玉掛け作業は、多くの場合、同時に行われることが多いです。	
フォークリフト運転技能講習修了証	最大荷重1t以上のフォークリフト	TMRセンターでパレットに乗せた飼料等を移動する場面で使用することの多い機械です。	
車両系建設機械（整地・運搬・積み込み用及び掘削用）運転技能講習修了証	ホイールロータ・パワショベルなど	サイレーン調整や堆肥積み込みで使用される機械です。	

※刈払機械取扱作業者の資格は対価を受け取る業務として作業を請け負う場合に必要になります。敷地内の雑草を刈るような場合は、この資格がなくても作業はできますが、点検・整備方法や振動障害に関する講習もあり、資格を有することが望ましいとされています。

4 労働保険と社会保険の加入

労働者を雇用する場合には、労働者の身体と生活を保護するため労働保険と社会保険に加入しなければなりません。

(1)労働保険とは、労働者災害補償保険（以下労災保険）と雇用保険のこと

個人経営では、常時5人未満の労働者を雇用する場合は任意加入ですが、被雇用者からすると労働条件として加入が望まれます。法人経営では、1人でも雇用する場合は強制加入となります。加入は、労働者にとって安心を高めるとともに、雇用する側も万が一に備え重要なことです。

ア 労災保険：労働者が業務上・通勤中の怪我や障害、病気、死亡が起きたときに対象になり支給される。

イ 雇用保険：労働者が失業し所得の源泉を失った場合や、労働者が働けなくなったときに対象となり生活給付として支給される。

(2)社会保険とは、医療保険、介護保険、年金保険のこと

経営形態、雇用人数によって、加入する制度や要件が異なります。雇用者の健康と老後の生活を守るため加入する義務があります。